



南東北グループ
医療法人財団 健真会
総合東京病院広報誌



医療連携支援センター
地域連携室
TEL: 03-3387-5444

編集・発行／総合東京病院
印刷／石井電算印刷株式会社

Letter

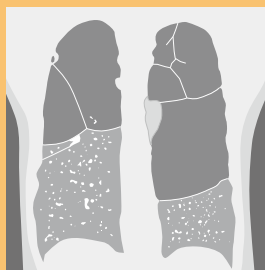
2022.5
vol.2

医療 コラム

「巨大肺のう胞」の話

肺気腫はタバコが原因の病気ですが、その肺の一部が大きな空気の袋になったものを「巨大肺のう胞」といいます。周りの肺を圧迫するので、さらに呼吸が苦しくなります。

最善の治療は「巨大肺のう胞」を手術で取り除くことです。この病院では一つだけの穴から胸腔鏡という器具を使った手術を行います（単孔式胸腔鏡手術）。中を観察しながら、「巨大肺のう胞」の根元を糸で縛ります。



「巨大肺のう胞」のCT写真

単孔式胸腔鏡手術は体にやさしい手術で、糸で縛る方法は肺に傷をつけないため、手術後回復が早く、また手術後は前より元気になります。手術後患者様に感想を伺うと、「もっと早く受ければよかった」といわれます。



呼吸器外科部長・
気胸センター長
森川 利昭

医療コラムの全文は当院ホームページでご覧いただけます。
右記QRコードを読み取って下さい。→



消化器疾患センター長
松橋 信行

●初めまして

NTT東日本関東病院で副院長をしておりましたが、4月に消化器疾患センター長として赴任致しました。東大の消化器研究室出身で、小さい研究室でしたが前任の菅野先生は消化器病学会理事長、同期の中釜君はがんセンター理事長など、重責を担ってきています。

●専門分野

消化器内科で、特に潰瘍性大腸炎やクローン病等の炎症性腸疾患の診療を中心にし、新薬の治験も多数実施して来ました。前任地では自科を質・件数とも全国トップの内視鏡的粘膜下層剥離術や肝臓がんのラジオ波治療を行うセンターに発展させてきました。ほか、内視鏡学会関連の全国研究で中心的に活動するなどしてきました。

●地域の皆さんへ

消化器の専門診療を発展させるためこのたび消化器疾患センターを立ち上げました。食道、胃、腸、肝臓、胆嚢、膵臓等の専門的な検査・治療が必要となりましたら、かかりつけの先生や健診センター等からの紹介状をご持参の上でご受診下さい。

Report



感染対策室から

コロナ感染症は様変わり。最初はいつ罹ったのかわからず、PCR検査より胸部CT検査の方が正しい診断が得られる程でした。ウイルス感染をすると体の中ではインターフェロンが分泌され、他のウイルスに感染しなくなるせいか、コロナ流行の変移は次第に感染力の強いウイルス株への置き換わりとなりました。感染力は武漢型から欧米型で1.2倍、α株で1.6倍、δ株で更にその1.6倍。検出するウイルス量も増加の一途を辿り、今ではCT検査よりPCR検査の方が正診率が高くなりました。ワクチン接種の影響もあり、感染力は強くても肺炎にならなくなりました。このまま罹っても大事に至らない病気となって終わりますかね！？



感染対策室室長代行
副院長/糖尿病センター長
柴 輝男

☆今月のキラリストッフ紹介☆

★看護師 河澄 勝也



左：河澄勝也救急外来看護副主任
右：渡邊貞義院長

私は昨年度、看護師として働きながら、大学で認知症について学びました。この経験を現場の仕事に生かしていきたいと思っています。

認知症の方は入院という急激な環境の変化や治療に伴う苦痛などが要因となり、様々な症状が出現するといわれています。彼らが安心して入院生活が送れるように当院では認知症サポートチームを立ち上げる予定です。このチームは、医師、看護師、薬剤師、リハビリセラピスト、管理栄養士など様々な職種から編成されています。私も看護師として地域の人々が「その人らしい」生活ができるようにサポートしていきたいと考えています。



愛犬のハロミ



鳥海ペインクリニック

鳥海ペインクリニックでは、肩こりや腰痛をはじめ、三叉神経痛や顔面神経麻痺、帯状疱疹など患者さんの痛み（ペイン）に対する診療を行っています。

「まずは蘇生を学ぶことが大事だ」という産婦人科医の父の勧めもあって麻酔科医を志すことにしました。大学病院時代には他の診療科の医師と連携して患者さんの全身管理等を行うところが非常に面白いと感じ仕事に熱中し、いつの間にか医局長を務めるまでになっていました。

「痛み」を我慢し続けて良いことは一つもありません。症状を伺いながら患者さんにあった治療をご提案しますのでお困りの方はお気軽にご相談ください。



鳥海 和弘 院長



鳥海ペインクリニック（野方駅北口前）

〒165-0027 中野区野方6-3-2

TEL: 03-3338-1414

診療科：整形外科、内科、外科、
胃腸科、麻酔科、肛門科



診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	●	●	休	●	●	●
15:00~18:00	●	/	休	●	●	/
13:00~15:00	/	●	休	/	/	●
休診日	水曜、日曜、祝日					

■動画ちゃんねる 「ドクター塚原の心臓病 ティーサロン」公開中！

副院長・循環器センター長の塚原玲子医師が、当院スタッフとざっくばらんに対談する人気コーナー。今月は心臓血管外科の砂田将俊医師と、身近な心臓病に関して語り合います。ぜひライブ配信でご覧ください。



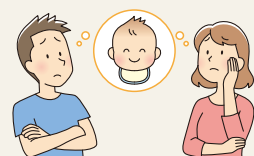
配信動画は
こちら↓



■不妊症、更年期障害の診療を開始しました

婦人科では不妊症、更年期障害の診療を開始しました。不妊症は向田医師、更年期障害は齋藤医師が担当します。お電話にてご予約のうえお越しください。

不妊に悩むカップルは年々増加傾向にあり、その割合は5.5組に1組とも言われています。当院ではステップアップ法を基本に、原因があればその治療を行ったうえで極力自然に近い形で妊娠を目指します。



詳しくは
こちら↓



急に体がほてり汗をかく、そのわりに手先足先は冷える、気分の浮き沈みが激しい…などのお悩みはありませんか？閉経前後の5年間は更年期といわれ、女性ホルモン減少に伴い様々な症状が現れます。



詳しくは
こちら↓



編集後記

2022年5月1日、今年は3年ぶりに行動規制のないGWを迎えることができました。とはいえ、医療従事者の皆さまにとっては見えない規制が常に心にあるのではないのでしょうか。けれど時々心の解放は必要です。私は最近「バードコール」を買いました。小鳥たちのさえずりを誘い心の解放を手伝ってもらっています。 by きなこ

